

令和七年度

入学者選抜学力検査問題

国

語

（現代の国語、言語文化）

〔注 意〕

- 一、監督者の指示があるまで、この冊子を開いてはいけません。
- 二、解答用紙のすべてのページに受験番号と志望の専攻を必ず記入しなさい。
- 三、この冊子の問題は、10ページからなっています。落丁・乱丁及び印刷不鮮明な箇所等があれば、すぐ申し出なさい。
- 四、解答は必ず別紙解答用紙の指定された場所に縦書きで記入しなさい。
- 五、解答用紙は持ち帰ってはいけません。
- 六、この冊子は持ち帰ってください。

近年、子どもの施設や学校から出る音について、周辺の地域住民から苦情が寄せられる例が報道されるようになった。そこで、インタビューをしたところ、左のふきだしのような意見が集まった。こうした音の問題について、どのような解決方法があるか、あなたの主張を述べよ。次の①から④の指示に従って四五〇字以内で書け。（採点は、題意の理解・着想・論理展開・表現・分量などについて行う。）

- ① インタビュー意見を参考に、意見の対立や現状を整理し、考えられる背景を述べること。
- ② あなたの主張を支える適切な理由を述べること。
- ③ 問題文に書かれていない設定を必要に応じて付け足してもよい。
- ④ 適切に段落を分けること。段落分けによって生じた空白は文字数に含めるものとする。

Aさん

夜勤明けで日中寝ている時に、近所の学校から聞こえてくる子どもの声がうるさいと、とてもつらい。

Bさん

電車内で自分の子どもが泣いたりすると、周囲に迷惑をかけていないかと不安になってしまう。でも、すぐに泣き止まない時もある。

Cさん

私の場合、小学校に通学中の子どもがいるので、学校からの音はうるさいと感じない。

Dさん

子どもの声は騒音なのかどうか、国や自治体が決めたらよいと思う。そうすれば、皆、納得する。

Eさん

うるさいのは、子どもの施設や学校からの音だけじゃない。近所から聞こえてくる除夜の鐘や盆踊りの音も、とてもうるさい。

Fさん

最近は、不寛容な社会になりすぎている。すぐに警察に通報したり、SNSに不満を書き込んだりする人もいるらしい。

次の文章を読んで、後の問いに答えよ。

人にとって情報とは、自分に何らかの影響を与える事柄である。一方、脳にとつての情報とは、脳の活性に影響する事柄であると言える。脳の活性に最も支配的な情報は、「情」に関するものである。一般的に、情は低次元の心のはたらきと思われがちだが、実際には情こそ脳というエンジンをもちともよく働かせるガソリンなのである。人は情を受け入れられ、それによって意欲が上がると脳の活性も高まり、知が働くようになる。

人と人との会話を例に考えてみよう。会話が生き生きと成り立つのは、単に事実や考えのみが交流されているときではなく、感情にしっかりと焦点が当てられているときであろう。実は、人は感情を受け止めてもらいたいために会話をし情報をやりとりするのだ、^(a)と言つても力ゴンではない。

子供が母親に、「お父さんから一〇〇〇円お小遣いをもらったので、絵本を買いにいきます」と言つたとしよう。この子はこの言葉によつて母親に、「父親から小遣いをもらった」という事実と、「もらった一〇〇〇円で絵本を買いにいきます」という考えを伝えている。しかしこの子はこうした会話によつて、これらの事実と考えだけでなく、母親に、自分がどんなに嬉しいかを伝えたいのである。したがつて母親がこの子の感情に焦点をあてた受け答えをしないと、この子は自分が母親に伝えようとした真意が伝わっていないと思ひ、自分が理解されていないと感じてしまう。このとき母親が、「よかったわね。お父さんからお小遣いをもらつて好きな本を買えてうれしいでしょう」という趣旨の受け答えをすれば、心のやりとりの会話が成立し、この子は理解され支えられている安心感を得るのである。こうすることによつて、脳はよい影響を受けて育つてゆくだろう。人を理解することとは、⁽²⁾その人の発した言葉の内容を理解するだけでなく、その言葉を発する基盤となる感情を理解することなのである。

人の情報を担うものは、言葉だけではない。特に感情の伝達・処理には非言語的なものの果たす役割が大きい。西欧人は、キリスト教を文化の基盤にしていることなどによつて、言葉に対する情報のイソン度が高いと言われる（新約聖書の「ヨハネによる福音書」一章一節に「初めに言葉ありき」という句がある）。これに対し、日本人は伝統的に少ない言葉の中に感情を埋め込んで情報を伝えることに長けている。^(ア)例えば、俳句や短歌などを見ても、日本人が言語の行間に醸し出される情報を大切に文化をもつことがわかる。

このことは、よく日本人に対して聞かれる批判である「^(A)あいまいだ」「何を考えているかわからない」「論理的思考が劣る」などにもつながると思われるのである。しかし、日本の文化の一つの特徴は、すべてを言葉で言わなくても、人としての情報が十分伝えられるようなことを重視してきた、ということであろう。脳では、学習経験によつて情報処理の特性が決まるので、このような日本人のタイプは日本文化の反映であり、ある意味では世界の中でもトクイな脳の特性分化をとげたものといえる。⁽³⁾話された言葉から、その背景にある話し手の感情を思いやり、理解しようとするというような心の交流は、日本人的な感性を持たなければ成り立たないであろう。言葉でだけ情報を伝えようとし、言葉でなくては情報を受け付けけないとする文化で

は、同じ言葉を使う人との間でさえ、心の交流は難しいのである。

人は言動などの行為(doing)の基盤となる存在(being)を人に支えてもらうことによって、人と人との関係を成り立たせることができ、このことを通して、自分がわかってもらったという安心感も得られる。そのために必要なのが心の交流に支えられた対話なのである。例えば、オートバイを暴走させる男の子がいたでしょう。この子がこの行為に走る基盤にあるのは、心理学的に見ると、社会や家庭から愛されていない淋しい感情であると言われている。そうであるとすれば、脳の特性から見て、われわれはこのような子との会話やその他の接触を通して、こうした感情に焦点を当てた受け答えをすることが重要である。すなわちこの淋しさを理解し充足するように応答することによって、この感情のハツロ^(d)となつて行爲を解消することにつながるのではないだろうか。この子の行為を改めるように教えるのではなく、その行為のハツロの源となつて感情を「わかる」ことが最も大切なのである。

人は人との関係において生きる。そのため、われわれは情報なしに生きることができない。これまで述べてきたことからわかるように、情報^④の人にとつて最も重要な事柄は「情」である。人の存在は情によつて支えられ、その行為や言葉はその情を表現する担体^(注)、手段にすぎない。どんなにインターネットで事実や考えが頻繁に飛び交う世の中になつても、事実や考えを伝え合う情報^(e)だけでは真の情報化社会とはいえない。人にとつての情報化社会とは、人の心に潤^(エ)いを与える、情の通い合う社会でなくてはならないのである。

人は、その脳の特性から、欲求を充足する方向に行動する。そして人には、一つの欲求が充足されると次の段階へさらに欲求を進めようとする傾向がある。

このため、人は現在その人の置かれた位置がたとえ他人から高く羨ましいと思われていても、その位置そのものには満足できない。むしろ、欲求のベクトル(方向)が上向いていると思うことによつて幸福感が得られるのである。したがつて、人の幸福度とはその人がいる位置ではなく、そこから向かうべき方向が上向きかどうかによつて決まるといえる。たとえ悲惨な災害に遭つて、多くの物が失われたとしても、将来に希望を抱きそれにむかつて進もうとすることのできる人は幸福である。

しかし人は、ある欲求が達成されると、むしろ脱力感を覚え、その目標に対する意欲がむしろゲンタイ^(e)してしまうことがある。そればかりか、欲求が達成されればされるほど、次の目標に欲求のベクトルを上向けようと、さらに高いものを望むというのが常である。「もつともつ」と欲求を追い求めるのである。このような脳の性質によつて、人は芸術、文化、科学技術といったものを進歩させてきたことも事実である。現代の消費社会はこうした性質をうまく利用し、「あれば便利」というものを常に人に追求させるように進んできた。しかし、こうした飽くなき欲求の追求によつて、人は「人としてなくてはならないもの」を失つてはいないだろうか。

生まれたばかりの赤ちゃんでさえ、誰に教えられなくても、おっぱいに吸い付く。欲求のベースは遺伝的に与えられているのである。われわれの肉体を維持、発展させるために、遺伝的な欲求として食欲、飲水欲、睡眠欲などの生理的欲求が備わっていることはよく知られている。しかし、われわれにとって重要な欲求はそれらばかりではない。われわれ人は、集団として生きる動物であり、集団の中で生活し、行動する社会的な動物として進化してきた。言ってみれば、われわれは他の人と関わることによつてのみ、生きることができるのである。そのためわれわれには、生まれつき人との関わりを求めようとする「関係欲求」が、遺伝的に備わっていると考えることができる。

昔、ドイツのフレデリック二世は、生まれてきた赤ちゃんがどのように言語を獲得するのかを観察するため、赤ちゃんの生理欲求はよく満たすが、赤ちゃんに関わることを一切しないという実験をしたという。話しかけるなどの関わりを一切断つたとき、赤ちゃんの言語獲得はどうなるのかをみようとしたのである。この結果は大変悲惨で、実験された赤ちゃんはみんな死んでしまったということが記録に残されている。関係欲求が充足されないと、たとえ生理欲求がよく充足されていても、脳活性は上がらない。外部情報に対し価値を認めることができず、意欲も上がらないために、脳の発育（神経回路の整備）は不全となってしまう。これがひいては免疫活性の低下につながるなどして、病気になる生命を失ってしまったのではないだろうか。

この例では、関係欲求の不足がきわめて強調されて現れたのは、実は生理欲求がよく充足されていたからだ、と考えられる。現代は「心の時代である」と言われるが、今の時代の状況はこの実験における状況に似てはいないだろうか。現在、われわれは物質的に豊かな環境にあり、生理欲求はまず満たされている。したがって、われわれの関心は関係欲求の充足・不充足へと集中する。そして、関係欲求が充足されないことでさまざまな支障を生じているととらえることができるのではないか。

関係欲求を、脳の機能と合わせて理解しようとする以下のようなになる。脳は、遺伝的な生理欲求と関係欲求を基に、外部情報の価値を判定するところから成長を始め、この価値判定に基づいて行動キハンを決める。それと同時に、価値によつて脳内活性を調節し、学習能を制御することで、価値情報処理回路を形成する。そしてこの処理回路による価値基準に基づき言動出力し、外界からの応答結果を再評価して、必要とあれば価値情報処理回路を変更、修正する。すなわち、価値情報処理回路も遺伝的な欲求（生理欲求と関係欲求）をベースにしながら、学習によつて脳内に固定化され、外部情報はその回路を活性化することで価値判定の結果を出力するのである。

⑥「愛」とはこうした関係欲求における価値表現である。つまり、愛とは人との関わりを求め、人の存在をそのまま受け入れるための価値の尺度ということになる。そしてわれわれは、愛をもつためには、自分自身が愛を受けた経験をもつてそれを学習し、脳内にそうした回路を形成していかなくてはならない。

愛は脳を活性化し、意欲を向上させて脳を育てる。われわれが、どんな悪い状況にあるときでも、愛によって支えられることでエネルギーが得られ、問題の解決につながるという経験をするのはそのためである。そして人は愛なしには生きられない動物であり、愛されることによって安心感を得て、「そのままの自分をいきいきと生きる」ことができるのである。

困難や苦しみに出会ったとき、人は自分でそれに立ち向かい、その解決の道を自分で探り出す努力の中で、そのための脳の回路を形成する。そしてそれを乗り越えるステップを発見して、われわれは成長していく。こういうとき、困難や苦しみから逃げないで立ち向かう勇氣は、愛によってのみ与えられるだろう。愛は人が成長する源であり、心の活性化エネルギーなのである。脳にとつての最大の価値、そして活性化のもととは、関係欲求の充足であり、それは愛という概念で表現されるものである。

(松本元『愛は脳を活性化する』設問の都合上、本文を一部改めた。)

(注) ○担体——たんたい。吸着や触媒活性を示す物質を固定する土台となる物質のことを指す化学用語。キャリアとも言う。

問一 二重傍線部(a)～(f)のカタカナを漢字に直せ。

問二 二重傍線部(ア)～(エ)の漢字の読みを送りがなも含めてひらがなで書け。

問三 点線部Aの品詞を答えよ。

問四 傍線部①について、筆者が「感情」と対比しているものは何か。二字の言葉を二つ抜き出せ。

問五 傍線部②について、本文の子供と母親の具体例を用いて説明せよ。

問六 傍線部③について、「日本人的な感性」とはどのような感性なのかを説明せよ。

問七 傍線部④について、なぜそのように言えるのか、「情」の語の意味を明らかにした上で理由を説明せよ。

問八 傍線部⑤について、「人としてなくてはならないもの」とは何で、それを失っているとはどのようなことなのか説明せよ。

問九 傍線部⑥について、「愛」が「価値表現」であるというのはどのようなことなのか説明せよ。

問一〇 この文章は『愛は脳を活性化する』という題名の本の一部である。筆者は「愛は脳を活性化する」という主張をどのように説明しているのか。次の①～③の条件を踏まえて述べよ。

- ① 一二〇字以内で書くこと。
- ② 次のキーワードを必ず用いること。（情、関係欲求、愛）
- ③ 本文を引用して書くこと。ただし引用部分は「」でくくって示すこと。

次の文章は、『源氏物語』賢木巻の一部である。病の重くなつた桐壺院(文中の「院」)は、見舞いに訪れた長男の朱雀帝(文中の「内裏」「帝」)に今後のことを遺言する。また別の日、見舞いに訪れた末の息子である皇太子(文中の「春宮」)、その母で桐壺院の後の藤壺宮(文中の「中宮」)、桐壺院の次男の光源氏(文中の「大将」)にも遺言を伝える。これを読んで、後の問いに答えよ。

(注1) 院の御悩み、神無月になりては、いと重くおはします。世の中に惜しみきこえぬ人なし。(注2) 内裏にも思し嘆きて行幸あり。弱き御心地にも、春宮の御ことを、かへすがへす聞こえさせたまひて、次には大将の御こと、^①「はべりつる世に変はらず、大小のことを隔てず、何ごとも御後見と思せ。齡のほどよりは、世をまつりごたむにも、をさをさ憚りあるまじうなむ見たまふる。必ず世の中たもつべき相ある人なり。さるによりて、わづらはしさに、親王にもなさず、ただ人にて、おほやけの御後見をせさせむと思ひたまへしなり。その心違へさせたまふな」と、あはれなる御遺言ども多かりけれど、女のまねぶべきことにしあらねば、この片はしだにかたはらいたし。帝も、いと悲しと思して、さらに違へきこえさすまじきよしを、かへすがへす聞こえさせたまふ。御容貌もいときよらに、ねびまさらせたまへるを、^②うれしく頼もしく見たてまつらせたまふ。限りあれば急ぎ帰らせたまふにも、^③なかなかなること多くなん。(注7)

春宮も、一たびにと思しめしけれど、^④もの騒がしきにより、日をかへて渡らせたまへり。御年のほどよりは、大人びうつくしき御さまにて、恋しと思ひきこえさせたまひける積もりに、^⑤何心もなくうれしと思して見たてまつりたまふ御気色、いとあはれなり。^⑥中宮は涙に沈みたまへるを、見たてまつらせたまふも、さまざま御心乱れて思しめさる。よろづのことを聞こえ知らせたまへど、いとものはかなき御ほどなれば、うしろめたく悲しと見たてまつらせたまふ。大将にも、おほやけに仕うまつりたまふべき御心づかひ、^⑦この宮の御後見したまふべきことを、かへすがへすのたまはず。夜更けてぞ帰らせたまふ。残る人なく仕うまつりてののしるさま、行幸に劣るけぢめなし。^⑧飽かぬほどにて帰らせたまふを、いみじう思しめす。

(注) 1 院——桐壺院。帝の位を第一皇子に譲り、上皇(院)となつてゐる。

2 内裏——朱雀帝。桐壺院の第一皇子。この時の帝。

3 春宮——皇太子。後の冷泉帝。この時は五歳。父は表向きには桐壺院だが、その実は光源氏。母は藤壺宮。

4 大将——光源氏。桐壺院の第二皇子。春宮の後見役で、この時の官職は右近衛大将。

5 女のまねぶべきことにしあらねば、この片はしだにかたはらいたし——語り手の感慨。「政治関係のことは」女が口にすべきことではないので、このように少しお話しただけでさえ気がとがめる思いがします」の意。

6 限りあれば——滞在できる時間に限度があるので。

7 もの騒がしきにより——帝と春宮の移動が一緒になると、おおごとで騒がしくなりすぎるので。

8 何心もなく——ただもう無心に。無邪気に。

9 中宮——藤壺宮。桐壺院の後。春宮の母。

問一 傍線部(a)は旧暦十二か月のうち何月のことか、漢数字で答えよ。

問二 波線部(ア)～(ウ)の本文中における意味を答えよ。

問三 傍線部①について、以下の問いに答えよ。

(1) 「つる」の品詞名、意味、活用形を答えよ。

(2) 「はべりつる世」とはどのような「世」のことか、主語が誰かを明らかにして答えよ。

問四 傍線部②について、以下の問いに答えよ。

(1) (A)誰が、(B)誰を、見ているのか、それぞれ文中の語句を抜き出して答えよ。

(2) (1)で答えた(A)が、(B)を「うれしく頼もしく見」ているのはなぜか、理由を説明せよ。

問五 傍線部③は、誰のことを指しているか、文中の語句を抜き出して答えよ。

問六 傍線部④を、「帰らせたまふ」「思しめす」の主語をそれぞれ明らかにして現代語訳せよ。

四

次の文章を読んで、後の問いに答えよ。

嘉興徐泰、幼喪父母、叔父隗養之、甚於所生。隗病、泰營侍、甚勤。是夜三更中、夢二人乗船持箱、上泰床頭、発箱、出簿書示曰、「汝叔応死。」泰即於夢中叩頭祈請良久、二人曰、「汝県有同名、姓名人上否。」泰思得語、二人云、「張隗不姓徐。」二人云、「亦可強逼。」念汝能事叔父、当為汝活之。」遂不復見。泰覺、叔病乃差。

(注) 1 嘉興——現在の浙江省にある地名。

2 徐泰——人名。

3 隗——人名。徐隗。

4 所生——実の子。

5 營侍——看病し世話する。

6 三更——午前零時前後。

7 床——寝台。

8 簿書——帳簿。

9 叔——「叔父」に同じ。

『搜神記』

10 叩頭——額を地につける。

11 差——病気が治る。

問一 波線部(a)(b)の「於」はいずれも助字だが、文法的な働きが異なっている。本文中における文法的な働きについて、それぞれ違いがわかるように簡潔に説明せよ。

問二 夢の部分はどこからどこまでか。本文から最初と最後をそれぞれ五字ずつ抜きだせ。なお返り点と送り仮名、句読点は書かなくてよい。

問三 傍線部①の言葉から、「簿書」にはどのようなことが書かれていたと考えられるか、説明せよ。

問四 傍線部②のように「叩頭して祈請」したのはなぜか、その理由を説明せよ。

問五 傍線部③を全文ひらがな(現代仮名遣い)で書き下し文に直し、現代語訳せよ。

問六 傍線部④のように言ったのはなぜか、本文全体を踏まえて具体的に説明せよ。